

報道資料

2012年12月7日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

報道関係各位

2012年度「PRアワードグランプリ」決定 グランプリに 株式会社電通パブリックリレーションズ 「もっとクロス!計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～」

企業・各種団体の広報部門とパブリックリレーションズ（PR）関連企業の会員で構成する公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会・理事長 森 健）では、PRに対する理解促進を目的とする「PRアワードグランプリ」を毎年顕彰していますが、このほど2012年度の受賞社が決定しました。

「PRアワードグランプリ」は、会員及び一般（会員外）各社から推薦・ノミネートされたPR・広報スキルの優秀な事例（作品）の中から、グランプリ1作品、部門最優秀賞3作品を選定・表彰するもので、今年のグランプリは株式会社電通パブリックリレーションズ『もっとクロス!計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～』に決定しました。

また、部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門が株式会社大広／株式会社博報堂関西支社の『「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN OSAKA発見隊』、マーケティング・コミュニケーション部門が株式会社電通／森永製菓株式会社の『森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場活性化を目的としたPR活動』、ソーシャル・コミュニケーション部門がブルーカレント・ジャパン株式会社の『熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知向上 教えて!「かくれ脱水」委員会』にそれぞれ決定しました。

なお、「PRアワードグランプリ」の表彰式は、12月6日(木)午後1時10分より六本木アカデミーヒルズ49「オーデトリウム」で行われた最終審査会終了後、同会場にて執り行いました。

※この報道資料は2012年12月7日、東商記者クラブにおいて配布されたものです。

●この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

担当：担当： 佐野、縮(ちぢみ)

TEL: 03-5413-6760 FAX: 03-5413-2147

《PRアワードグランプリ》受賞社及び表彰式

- | | |
|----------------------------------|---|
| ・PRアワードグランプリ | ・株式会社電通パブリックリレーションズ
『もっとクロス！計画
～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～』 |
| ・コーポレート・
コミュニケーション部門
最優秀賞 | ・株式会社大広／株式会社博報堂関西支社
『「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN
OSAKA発見隊』 |
| ・マーケティング・
コミュニケーション部門
最優秀賞 | ・株式会社電通／森永製菓株式会社
『森永製菓「森永甘酒」のための
甘酒市場活性化を目的としたPR活動』 |
| ・ソーシャル・
コミュニケーション部門
最優秀賞 | ・ブルーカレント・ジャパン株式会社
『熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知向上
教えて！「かくれ脱水」委員会』 |

選考：特別審査員4名、各部門審査員長4名および公募の一般審査員36名の投票により決定いたしました。

【特別審査員】(順不同)

経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長補佐 仲 舎菜子氏

株式会社 宣伝会議 取締役副社長兼編集室長 田中 里沙氏

評論家・コメンテーター 大宅 映子氏

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授 阿久津 聡氏

【各部門審査委員長】

◇コーポレート・コミュニケーション部門 審査委員長
東京経済大学 名誉教授 猪狩 誠也氏

◇マーケティング・コミュニケーション部門 審査委員長
中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏

◇ソーシャル・コミュニケーション部門 審査委員長
東洋大学 経営学部経営学科 教授 井上 邦夫氏

◇イノベーション部門 審査委員長
江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 教授／日本広報学会 理事長
濱田 逸郎氏

表彰式：12月6日最終審査会終業後、引き続き同会場にて実施いたしました。

別添：過去の「PRアワードグランプリ」受賞作品一覧
：(公社)日本パブリックリレーションズ協会について

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」受賞作品一覧

(会社名は当時)

2011 年度		
	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	議会広報紙イノベーション ～さいたま市議会「ロクマル」の挑戦～
コーポレート・コミュニケーション部門	(株)オズマピーアール	宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト 宇都宮プライド ～100年先も誇れるまちを、みんなで～
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)電通関西支社 (株)電通パブリックリレーションズ 関西支社	「アイスの実」キャンペーン 2011PR活動
ソーシャル・コミュニケーション部門	セカンドハーベスト・ジャパン	被災地石巻へ食糧配給拠点立ち上げ ～東日本大震災直後からの支援活動～
イノベーション部門	(株)博報堂	「マーケティング 3.0=世の中と企業が価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーレブンプログラム」
2010 年度		
	エントリー会社名	業務名
グランプリ	小林製薬(株)	小学校のトイレピカピカ計画 ～企業・NPO・行政が一体となった小学校のトイレ環境を改善する活動～
コーポレート・コミュニケーション部門	キッコーマン(株)	キッコーマン上海万博プロジェクトによる日本食文化の発信
マーケティング・コミュニケーション部門	(株)ワコール (株)インテグレート	ワコール エイジングケア啓発プロジェクト ～日本人女性の下着選びの意識を変えたIMC戦略
ソーシャル・コミュニケーション部門	(株)TMオフィス	豊新市場開拓プロジェクト「豊ドクター」認定による豊の復興PR戦略
スキル部門	(株)電通 (株)電通パブリックリレーションズ	PR効果分析ツール「PR@NET SCOPE」(プラネットスコープ)
2009 年度		
	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	北海道米ブランド創造プロジェクト
日常広報活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	牛乳供給危機 ～30年ぶりの乳価値上げを目指したPR活動
キャンペーン部門(単年度・単発型)	(株)arex	事故米の風評被害を受けた食品会社のレピュテーション回復のための危機管理広報
キャンペーン部門(複数年度・継続型)	エム・エム・エス・コミュニケーションズ(株) MS&L	夕張市再生支援・「夕張夫妻」プロジェクト
イベント部門	(株)電通パブリックリレーションズ	日本農産物について中国のバイヤーからの認知獲得をめざしたPR活動
ツール・スキル部門	(株)野村総合研究所	生活者視点による、新しい広報・PR効果測定サービス(ツール)の提供
2008 年度		
	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	10年ぶりの改訂『広辞苑第6版』発売PR ～ネット全盛時代に「紙の辞書」の有用性を語る～
日常広報活動部門	(株)コムデックス	『魚鱗癬』の啓発活動
キャンペーン部門	日本ミシュランタイヤ(株)	『ミシュランガイド東京』発刊へのPR活動
イベント部門	ピーアールコンビナート(株)	ケルヒャー『松田川ダム エコ・アート』プロジェクト
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	『数字に見る医療と医薬品』(年刊)発行

2007 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)	女性が働きやすい社会をめざして ～ダイバーシティ推進と女性活用からの学びを通じた社会貢献～
ルーティン活動部門	ピーアールコンビナート(株)	ロッテの四半世紀にわたるチューインガムの社会的価値向上活動
キャンペーン部門	キッコーマン(株)	キッコーマン アメリカ進出 50 周年プロジェクト
スキル部門	(株)タカオ・アソシエイツ	広報・危機管理マニュアルの作成・発行

2006 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	ファイザー(株)	喫煙者の禁煙意識向上とニコチン依存症の疾患啓発活動
ルーティン活動部門	帝人(株)	帝人グループの認知度向上プロジェクト
キャンペーン部門	(株)電通	牛丼復活に対するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通パブリックリレーションズ	中心市街地活性化に係る国民への広報のあり方に関する調査研究

2005 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	地球温暖化防止「国民運動」
ルーティン活動部門	小林製薬(株)	更年期障害の啓発と「命の母」のPR活動
キャンペーン部門	(株)プラップジャパン	食物繊維の新たな機能「ファイバーデトックス」を訴求するコミュニケーション活動
スキル部門	(株)電通	報道レピュテーション分析プログラム

2004 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)オズマピーアール	「えひめ町並博 2004」PR 活動
ルーティン活動部門	(株)電通パブリックリレーションズ	痴呆症啓発のための調査研究プロジェクト
キャンペーン部門	日本ゼネラル・エレクトリック(株)	『地域に役立つ発明家になろう』プロジェクト
スキル部門	(株)高雄宏政事務所	広報効果測定のための報道記事分析の開発
	(株)博報堂	子どもたちの国際理解のために『日本・中国・韓国の昔話集』1～3 巻を作りました

2003 年度

	エントリー会社名	業務名
グランプリ	(株)博報堂	トヨタ ラウム ユニバーサルデザイン広報
準グランプリ	(株)電通パブリックリレーションズ	『JICA 有名化計画』独立行政法人化・広報支援プロジェクト
準グランプリ	松下電池工業(株)	インターネットを使った「遠隔 電池教室」

2002 年度

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	浦安市 ごみ減量・リサイクル啓発プロジェクト
優秀賞	(株)オズマピーアール／(株)博報堂	丸ビルグランドオープニングを中心とした年間広報活動
優秀賞	(株)電通	カレー再発見フォーラム

2001 年度(秋)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「伊藤園 お〜いお茶 新俳句大賞」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	ノバルティス「すこやか 5 世代」キャンペーン 2001
優秀賞	伴ピーアール(株)	近畿 1400 万人の飲み水を美しくするヨシ。その琵琶湖 ヨシの保護と活用。

2001 年度(春)

	エントリー会社名	業務名
最優秀賞	(株)博報堂	「納豆 金のつぶ におわなっとう」キャンペーン
優秀賞	ピーアールコンビナート(株)	「しっかり噛んで健康家族」
優秀賞	(株)電通パブリックリレーションズ	食のスマートライフ実現のための調査・広報活動

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会）について

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会（PRSJ））／理事長 森 健）は、1964年に結成された日本PR協会と、1974年に設立された日本PR業協会が1980年に時代に即したPRの在り方を求め、PRの啓発・普及を図るために合併統合されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに学者・有識者を含む約500名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。

また、2012年3月に公益社団法人として認定され、4月1日から公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会として新たな組織としてスタートいたしました。

主要活動としては、広報・PRパーソンの倫理の徹底や「各種研修セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」の運営等を行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の理解促進と、会員のPRスキル向上を推進しています。また、2007年より、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を有することを認定する資格制度「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外のPRパーソンや、PRに興味を持つ学生などの幅広い参加をいただいております。2009年10月からは、新たに時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、広報力アップを目的とした「広報PRアカデミー」を開講いたしました。

さらに、PRプランナー資格認定制度対応テキストとして、2010年4月に「広報・PR概論(1次試験対応)」を、2011年3月に「広報・PR実務(2次・3次試験対応)」を、2012年4月に過去問題集を出版し、広報・PRの普及と発展に寄与しております。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL：03-5413-6760 FAX：03-5413-2147

Email：mail@prs.or.jp